

2018年3月

フィジー共和国ヨゲシュ・カラン首相府次官が JNTO を訪問

3月20日（火）、フィジー共和国からヨゲシュ・カラン首相府次官が JNTO を訪問し、両国での観光促進について意見交換を行いました。

フィジーは、2018年7月からフィジー（ナンディ）－日本（成田）の直行便が再開する計画であることから、日本からの観光客の増加が期待されています。JNTOとしても、ラグビーワールドカップ2019日本大会と2020年オリンピック・パラリンピック東京大会の開催を契機に、フィジーからの訪日客数の増加を期待しています。

カラン首相府次官からは、スポーツ関連の国際大会は重要なイベントであり、特にラグビーは熱狂的なファンが多く、フィジーのみならず大洋州全体で訪日客数の増加を見込めるはずで、より一層の二国間の相互交流を図りたいとのご発言がありました。

松山理事長からは、観光ビジョンにもとづく取り組みにより、昨年、日本を訪れた外国人観光客は史上初めて2,869万人となり、今後も訪日客数と消費額ともにさらなる増加を目指していくことが説明されました。

今後も双方から旅行者を送客できるように協力し合うことを約束し、和やかに懇談は終了しました。



カラン首相府次官と松山理事長